

<Soleil> 施主様より

私が臼井さんと初めて逢ったのは、2007年9月15日、アパートを管理していただいている不動産屋さんの紹介がきっかけでした。そして現在も、臼井さんに作品である建物の健康状態を診てもらっています。

それでは何故私が、U建築設計室を選んだのかと言うと、アパートの建っている土地を最大限に活用でき、年数が経っても古さを感じさせない賃貸併用住宅をお願いしたかったからです。

それに並行し、大手建築会社数社に同条件でどの様な物が出来るのか依頼をしていました。

その結果は、大手の工法は、軽量鉄骨・ツーバイフォーなど様々でしたが、その全てが似たようなもので、今までの外階段を使用した賃貸併用住宅でした。

それは、想像はしていましたが、誰が見てもアパートという面白くないもので、本当にがっかりしました。

さらに、土地の形(台形)をもっと有効に無駄なく活用できないかと聞くと、皆「これ以上は、無理です。」と言う回答でした。それは、工場で規格通りに作られた物を持ってくるのだから仕方ないのかも知れませんが、建蔽率60%のところ、51.06%と言うものでした。

家を建てるという事は、人生において何度もある事ではないのに、業者の言いなりで、自分の気持ちや、考えが反映されないのはおかしいと感じている時、臼井さんのツーパータンの画案を見て、「これは面白い」と大手では感じられなかったワクワクする気持ちになったのです。

図案1は、ワンルームを主体とし、図案2は、螺旋階段を使用したメゾネット3戸と1LDK3戸のタイプでした。私は、図案2に関心を持ち、設計を臼井さんに依頼したのです。この時の建蔽率は、58.89%でしたが最終時点では、なんと・・・59.97%に成っていました。

ここから、臼井さんとの永くも楽しい週末打ち合わせが始まりました。私の意見をもとに図案を作り、私が細かなところに希望を言うと、それにあった最善の画案を作成してくるのです。それを幾度となく繰り返し、ようやく詳細図面を作成するも、さらに細かなところが見えてくるので、さらに細かな希望を通す、この作業を何度も繰り返しました。

そして、施工会社を決める際もいくつか優良な会社を選び、各々見積もりを出してもらい検討するも、私は素人で何処を選べばいいのか分からない時、臼井さんは、施主サイドに立ち、最良な施工者の選定をしました。

施工会社も決まり、工事が着工したのは、2008年12月でした。この時点で、臼井さんと知り会ってから1年3カ月が経っていました。これから建物が完成する7月までがまた忙しくも楽しい時間でした。

基礎工事が終わり、1階部分が出来上がってくると、週末現場責任者と臼井さん共に進捗状況や問題点など現場を見ながら話し合い、改善していったのです。

この方法は、図面だけで判断するよりも、その現場の中において更なるイメージが湧いてくるので、細かな変更改良が出来て良いことだと思いました。この時も、臼井さんは、施主サイドに立ち、現場責任者に指示をしてくれました。

私が依頼した工務店の責任者も行動が早く、工務店に対する信頼も増してきたと思います。これが大手建築会社だとここまで深く施主が入り込むことはできないのではないかと思います。

私は、この様な方法で家を建てましたが、未永く付き合える設計士と工務店を持つことが出来たことは、以後の安心へと繋がります。以前、トラブルが発生した時も、臼井さんに連絡すれば、工務店と共に素早く対処をしていただきました。

家を建てるという事は、本当に大きな買い物で、失敗は許されません。妥協して後で後悔するよりも、自分が納得するまで建築に参加した方が、後々後悔は無いと思います。

もう、この家に住みだし2年に成ろうとしています。妻と家にいる時間が増えたような感じがします。外出しても「早く家にかえろ」と妻が言います。キッチンも気に入っていて手料理の腕も上がったみたいです。

CLOSE (web サイトに戻ります)